

科目名 Course Name	教育方法論 Theory of Teaching Method			ナンバリング No.	K3-001		
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	小林 研介						
連絡方法	本館2階研究室、C-Learning で対応する						
必修/選択	選択(幼稚園教諭二種教職課程必修)						
関連 DP	DP1, DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	<p>幼児の教育方法の原理と幼児の教育方法の実際を示す。 OECD が提唱する Agency を解説する。</p> <p>① 幼児期の教育の方法が言えるようにする。 ② 幼児期の教育の方法とその後の教育の方法の違いが言えるようにする。 ③ Agency とはいかなるものか、またその育て方についての意見が持てるようにする。</p>						
授業の方法	<p>3回を1つのまとまりとして、解説、討議、発表とする。 討議は ディベート、グループワーク形式にする。 発表は全体へのプレゼンテーションとレポート形式にする。</p>						
学習成果	L01						
	L02	考える習慣、発表の実際を身につける。					
	L03	教育要領を正確に理解し、幼児教育を実践する知識、技能を身につける。					
	L04	VUCA という現象とその言葉の意味を考える。					
課題に対する フィードバック	発表とレポートに対するコメントを講義内にフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	「幼保連携型認定こども園要領」内閣府、「幼稚園教育要領」文部科学省、「保育所保育指針」厚生労働省						
履修上の留意点 やルール等	指定の席に座る。中座はしない。飲食禁止。レポートは必ず出す。事前・事後学習時間の目安は各回 180 分相当とする。						
担当教員の実務 経験	平成5年より幼稚園園長。令和2年4月より保育園を運営する。(実務経験 46 年)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講義の中で積極的な記述、発表ができる。		10		
レポート/作品	幼児教育の方法の理解があり、agency の考察ができる。		30		30
発表	教育課程の理解から、保育実践計画がたてられる。			20	
小テスト					
試験	評価Sは設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に授業内の学びを超え、自己の考え方も示されている。			10	
その他					
合 計			40	30	30

回数		授業計画
1	授業内容	講義の目的の確認 遊びを通しての教育とは
	事前・事後学習	どんなことをして遊んだか考えておく
2	授業内容	ディスカッション 遊びを通しての教育とはどういうものか？
	事前・事後学習	その中で身についたことは何か考えておく
3	授業内容	発表 遊びを通しての教育の心配点、配慮点
	事前・事後学習	発表をまとめる
4	授業内容	幼児教育における 環境とはなにか、そして環境の構成を講義する
	事前・事後学習	自己の置かれた環境を考える
5	授業内容	グループワーク ディスカッション 幼児にとっての環境
	事前・事後学習	発表をまとめる
6	授業内容	発表 砂場における環境の構成
	事前・事後学習	砂場で何が起こるか考える
7	授業内容	講義 幼稚園生活の中で育つもの 1
	事前・事後学習	幼稚園生活とは何があるか上げる
8	授業内容	講義 幼稚園生活の中で育つもの 2
	事前・事後学習	幼稚園生活とは何があるか上げる
9	授業内容	ディスカッション 卒園までに育ちたい 10 の姿と 5 つの領域の関係
	事前・事後学習	10 の姿を上げる
10	授業内容	写真ビデオで見る幼稚園教育の実際 1
	事前・事後学習	ビデオをまとめ発表する
11	授業内容	写真ビデオで見る幼稚園教育の実際 2
	事前・事後学習	ビデオをまとめ発表する
12	授業内容	発表 実習で何を見てきたか
	事前・事後学習	それぞれの発表をまとめる
13	授業内容	講義 アフォーダンスという考え方
	事前・事後学習	そのことばの意味を調べる
14	授業内容	発表 幼児期の子供たちの姿
	事前・事後学習	それぞれの発表をまとめる
15	授業内容	OECD における教育 2030 のめざすところ
	事前・事後学習	感じたことを発表する